研究ミーティングのためのポータブルレビュー支援 システムの開発

後藤 充裕*. 柏原 昭博*. 長谷川 忍**

A Portable Review System for Research Meetings

Mitsuhiro Goto*, Akihiro Kashihara*, Shinobu Hasegawa**

This paper proposes PodReview, which is a portable review of research meetings. The goal of PodReview is to encourage novice researchers to review research meetings with portable media player such as iPod to have a deeper understanding of the meeting contents. In general, it is important for researchers to hold a meeting to produce some beneficial findings. However, it is not so easy for the novices to understand the presentation and discussion conducted in the meetings to find out the benefits. They are strongly encouraged to review the meeting with the handouts, video-recorded material including the presentation slides, and so on. On the other hand, such review is not always conducted since it is burdensome. It is also hard to spare the time to review in the daily research activities. This paper describes a PodReview system, which encourages novices to review research meetings with iPod in a location-free and time-free manner.

キーワード: PodReview, ミーティングレビュー, ポータブルレビュー, レビュー支援, Podcast

1. はじめに

研究活動には、関連研究調査、理論構築、システム開発・評価、ミーティングなどさまざまなアクティビティが含まれる。このうち、研究ミーティングは他のアクティビティをつなぐ重要な役割を担う (1) とともに、プレゼンテーションや議論を通して研究活動に対する有用な「気づき」を与えることも多い。たとえば、関連研究調査のプレゼンテーションやその議論を通して研究を進めるべき方向性に気づくことや、システム開発の進捗状況をミーティング中で報告・議論するなかでシステムに必要な機能を新たに見いだすことなどが挙げられる。このように、ミーティングにおける気づきが次の研究アクティビティの指針となることも少なくない (2)。また、研究初学者にとっては、研究ミー

ティングは研究グループ内における研究内容のまとめ 方や発表方法,議論への参加態度などを学ぶ格好の場 ともなっている.

一方、研究初学者が研究ミーティングの内容をその場で正確に理解して学ぶことは容易ではない。また、プレゼンテーションや議論の流れを追うことに集中してしまい、研究熟練者であれば得られるはずの「気づき」が得られないままミーティングを終えてしまうことも多い。さらに、研究初学者がプレゼンタとなった場合、他の参加者から指摘された内容を理解して新たな気づきを得たつもりになっていても、ミーティング後にその指摘や得られた気づきを想起することが困難な場合もしばしば起こる。

このような問題を解決するためには、ミーティング 終了後にミーティング内容をレビューすることが必要

受付日: 2009年5月26日; 再受付日: 2009年11月6日; 採録日: 2010年1月12日

^{*}電気通信大学 情報通信工学専攻(Department of Information and Communication Engineering , The University of Electro-Communications)

^{**}北陸先端科学技術大学院大学 遠隔教育研究センター(Research Center for Distance Learning, Japan Advanced Institute of Science and Technology)